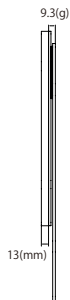
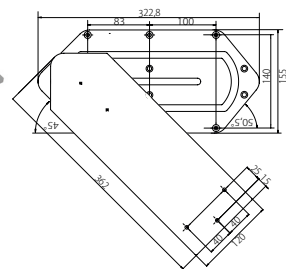
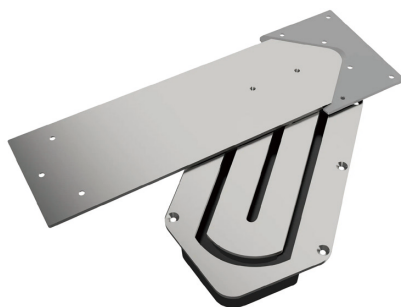


C300 回転テーブル金具 TOP

C300-T-L

※輸入取寄せ品

本体

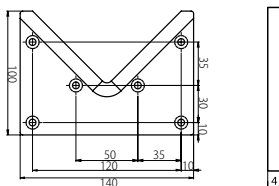
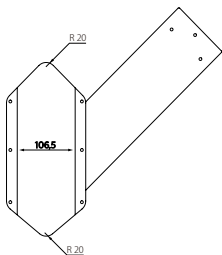


フェルトスペーサー

安全上の注意

金具本体へのダメージを避けるために
天板だけで取付しないでください。
床へのサポート脚がついた状態で取り
付けてください。

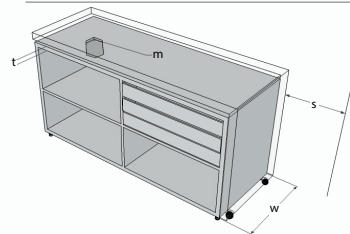
ロックングプレート



- 90°回転する機構金物です。
- 限られたスペースにワークデスクを展開できます。
- 材質／鋼・樹脂
- 仕上／鋼部ユニクロ・黒焼付塗装
樹脂部・黒
- 付属品／皿 TAP 5×20 15本
フェルトスペーサー 4ケ

仕様寸法

デスクの幅 (W)	480-700mm
取付け時の最少厚さ (t)	18mm
取付け時の加工深さ (m)	13mm
必要な空きスペース (s)	240mm
家具とデスクの隙間 (g)	9.3mm
重量	2800g

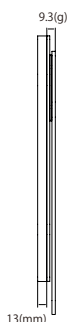
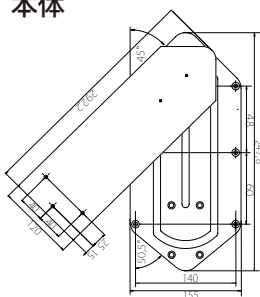
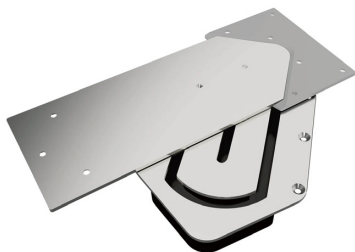


※この製品は輸入品のため、予告なく仕様変更を行う場合があります。

C300-T-S

※輸入取寄せ品

本体

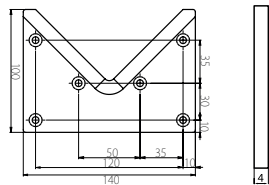
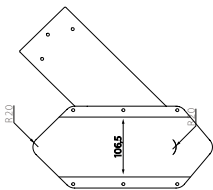


フェルトスペーサー

安全上の注意

金具本体へのダメージを避けるために
天板だけで取付しないでください。
床へのサポート脚がついた状態で取り
付けてください。

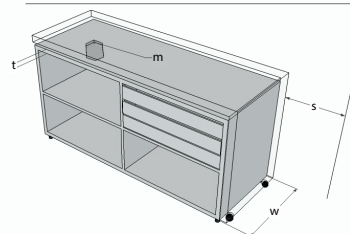
ロックングプレート



- 90°回転する機構金物です。
- 限られたスペースにワークデスクを展開できます。
- 材質／鋼・樹脂
- 仕上／鋼部ユニクロ・黒焼付塗装
樹脂部・黒
- 付属品／皿 TAP 5×20 15本
フェルトスペーサー 4ケ

仕様寸法

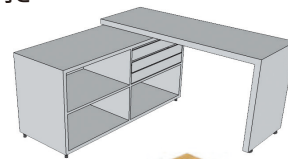
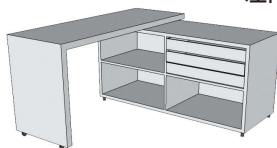
デスクの幅 (W)	360-460mm
取付け時の最少厚さ (t)	18mm
取付け時の加工深さ (m)	13mm
必要な空きスペース (s)	150mm
家具とデスクの隙間 (g)	9.3mm
重量	2200g

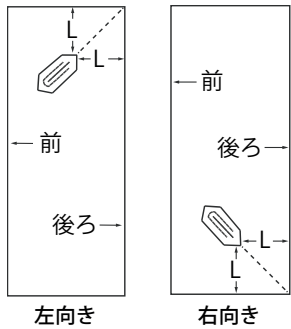


※この製品は輸入品のため、予告なく仕様変更を行う場合があります。

左向き

右向き

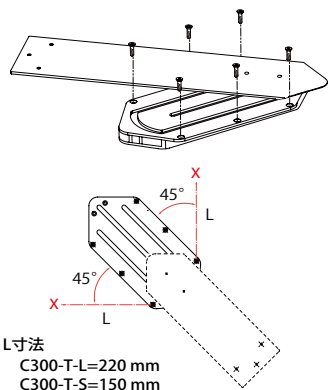




ステップ A - 加工

本体の右または左取付けをお選びください。
下記の距離 L の式に従って、本体の取付距離と位置を計算します。
家具ベースの表面に深さ m = 13 mm の加工をします。

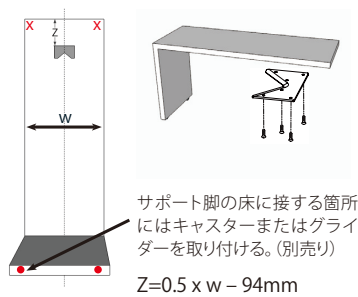
$$L = 0.5 \times w - 16.25 \text{ mm}$$



寸法
C300-T-L=220 mm
C300-T-S=150 mm

ステップ B - 金具本体の取付

本体を取付けます。
すべてのネジを締めます。すべてのネジの頭が完全にねじ込まれていることを確認してください。ねじ込まれていないと動きが妨げられます。
すべてのネジ穴を取付けるには、上部プレートを前後に動かします。
すべてのネジを固定した後、ステップDに示すように、可動プレートが家具のベースから突き出る位置に上部プレートを移動します。

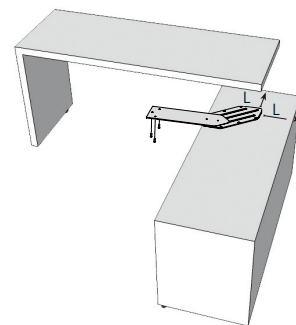


サポート脚の床に接する箇所にはキャスターまたはグライダーを取り付ける。(別売り)

$$Z = 0.5 \times w - 94 \text{ mm}$$

ステップ C - ロッキングプレートの取付け

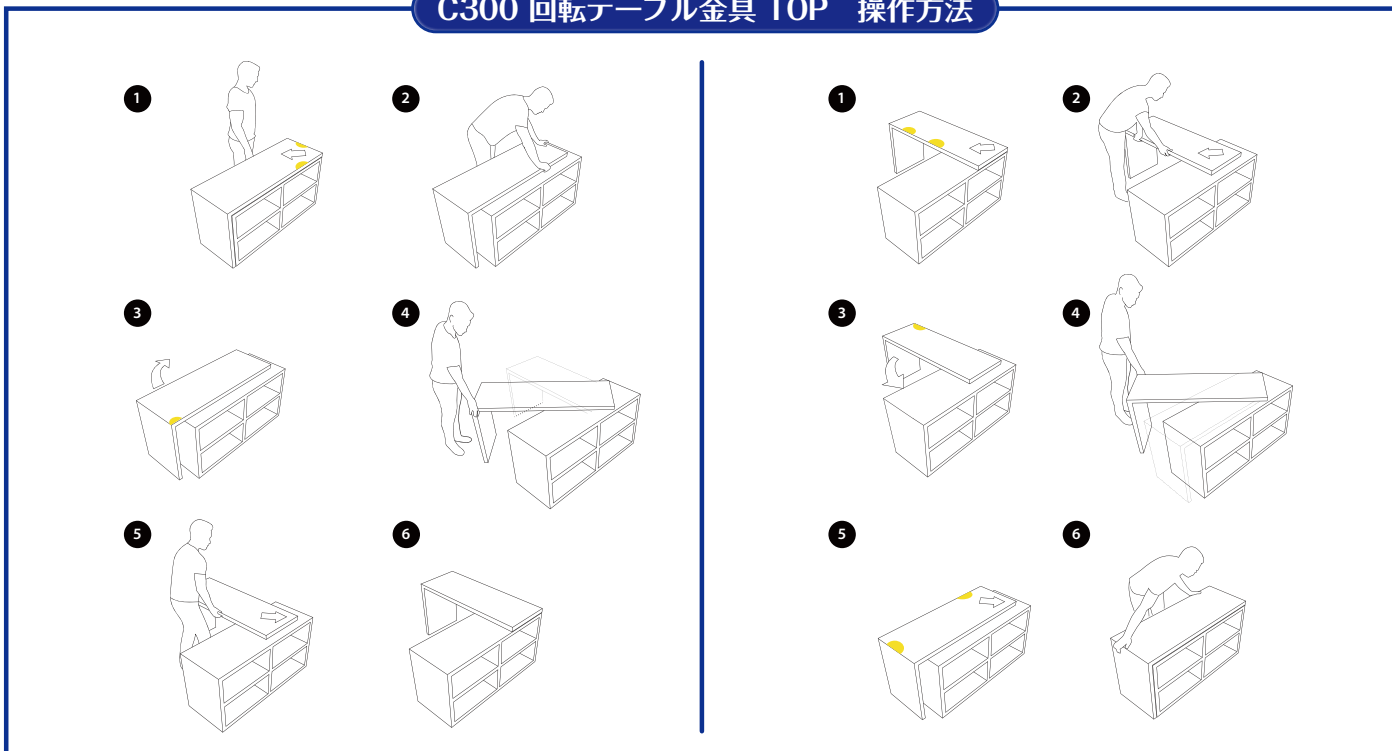
机の天板を裏返します。
ロッキングプレートを下面に取付けます。
下記の距離 Z の式に従って、ロッキングプレートの距離と位置を計算します。
付属の4つのフェルトスペーサーすべてを、金具本体の両側と天板裏側の両隅に赤くマークされたX位置に取付けます。



ステップ D - デスクの取付け

デスクの天板を再び上向きにして、家具の台座の上に持ち上げます。
デスクは、ロッキングプレートのV字型に金具本体の可動プレートのV字型に接続されるように移動する必要があります。
しっかりとロックされるまで、ロッキングプレートを可動プレートの対応する部分に引き込みます。
デスク下の可動プレートのネジ穴にネジを固定します。
これで完成です。

C300 回転テーブル金具 TOP 操作方法



取付け使用時において注意事項

可動する家具やデスクの重量、床の素材、床に接する部分に使用される部品の条件によってデスクを動かした際に床に傷や跡が発生する場合があります。

家具は傾斜のない平坦な地面に設置する必要があります。

上部のテーブルと下部の家具の隙間は、隙間の長さ全体にわたって等しくなければなりません。

回転テーブルとして設計されている場合は、床へのサポート脚でテーブルを支える必要があります。

デスクの天板と床へのサポート脚は機構による動きを考慮して、しっかりと設計・取付ける必要があります。

キャスターを取付ける場合は360° 自在の回転半径を持ち、可動家具部分の重量に応じて選択する必要があります。

機構の動作は操作方法に従って実行する必要があります。

※この製品は輸入品のため、予告なく仕様変更を行う場合があります。

新しいものは、いつもここから

株式会社 **コージマ**

KOJIMA METAL FITTING CORPORATION

<https://www.kojima-mf.co.jp> ✉ kanamono@kojima-mf.co.jp

本 社

〒111-0041 東京都台東区元浅草3-4-1
Tel.03-3843-3141(代表) Fax.03-3843-3144

春日部営業所

〒344-0062 埼玉県春日部市粕壁東1-26-20
Tel.048-760-3881(代表) Fax.048-760-3883

